

【大阪府】

現在の景気：一部弱含んでいるものの、持ち直しの動き。

3か月程度の見通し：電力需要、為替や海外経済の影響などから、下振れが懸念される。

個人消費：持ち直し。2月の大型小売店販売（速報、店調前）は、飲食料品が前年比4.8%増加、衣料品が7.2%増加し、全体では前年比4.3%増と11か月連続で増加。1-2月累計は前年同期比3.1%増加。

住宅建築：持ち直しの動き。2月の住宅着工戸数は、貸家が前年比31.9%増と2か月連続で増加、分譲住宅が2.5%増と2か月連続で増加し、全体では前年比9.3%増と2か月連続で増加。1-2月累計は前年同期比7.5%増加。

設備投資：弱含み。日銀短観（3月調査）によると2012年度上期の近畿地区設備投資は、製造業全体で前年同期比0.3%減少、非製造業全体で0.3%増加。中小企業（資本金1億円未満）は、製造業が前年同期比8.6%減少、非製造業が11.7%減少。

公共工事：弱含み。2月の公共工事は、請負件数が前年比6.3%増と14か月ぶりに増加、請負額が99.0%増と3か月ぶりに増加。1-2月累計は、請負件数が前年同期比8.4%減少、請負額が14.9%増加。足許増加しているものの基調は弱含み。

輸出：弱含み。2月の大阪税関管内通関輸出額（4港合計速報：大阪港、堺港、岸和田港、関西空港）は前年比8.5%減と6か月連続で減少。うち関西空港は、半導体など電子部品が前年比15.3%増加したものの、科学光学機器が4.2%減少、電気回路機器が2.1%減少。国別では、中国向けが前年比4.3%増加、米国向けが22.8%減少、EU向けが24.2%減少。1-2月累計は前年同期比8.3%減少。

生産活動：弱含み。1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比4.2%上昇し3か月ぶりに上昇。原指数は前年比2.7%低下し3か月連続で低下。出荷指数（季調済）は前月比1.7%上昇し2か月連続で上昇。原指数は前年比2.9%低下し3か月連続で低下。

観光：弱含み。10-12月の府内宿泊者数は前年同期比5.6%減少、宿泊単価は41.7%減少。

雇用情勢：上向き。2月の有効求人倍率は前月比0.01ポイント上昇し0.71倍。新規求人数は前年比10.7%増加、新規求職者数は5.5%減少。1-2月の新規求人数は前年同期比9.4%増加、新規求職者数は5.1%減少。1月の現金給与総額（事業所規模5人以上、名目賃金指数）は前年比0.1%減と4か月ぶりに減少、所定外労働時間は5.5%増と5か月連続で増加。

（トピックス）

4月1日、関西国際空港と大阪国際空港の2空港を一体運営（経営統合）する「新関西国際空港会社」が発足。政府は将来的に2空港の運営権を民間に売却し、関空の負債を圧縮する計画があることから、運営権の高値売却を図るためにも、関空は「国際ハブ空港」としての機能を高めていく必要がある。

4月8日、大阪を代表する多目的ホールの旧・大阪厚生年金会館が、リノベーションにより安全性と環境性を向上させた「オリックス劇場」としてグランドオープン。エレベーターの新設、女性用トイレの増設、バリアフリーの導入など、利用者がより快適に過せるよう工夫が凝らされている。